

## 催し物のご案内

### 平成29年度特別展

# 地球を「はぎ取る」

～地層が伝える大地の記憶～

2017年7月15日[土]－11月5日[日]

開館時間＝9:00～16:30(入館は16:00まで)  
休館日＝9月4日(月)・11日(月)・12日(火)・19日(火)・25日(月)  
10月2日(月)・10日(火)・11日(水)・16日(月)・23日(月)・30日(月)



地層には、大地の記憶がぎざまれています。いつ、どんな場所でできたのかという“時”や“場所”の記憶、地震や火山の噴火などの“事件”の記憶…。地層は、大地のさまざまな記憶を秘めた、貴重な「古文書」です。当館ではこれまで、崖に接着剤をつけてはがし取った「地層はぎ取り標本」をたくさん集めてきました。この特別展では、大型の「地層はぎ取り標本」を多数展示して、その中に秘められた“大地の記憶”を読み解きます。多種多様な地層の奥深さ、模様の美しさをお楽しみください。

### 《 当日受付の講座 》

- 展示・解説「昆虫少年・少女のひろば」[博物館]  
日時／①7月22日(土) ②8月11日(金・祝)  
各13:30～16:30 対象／どなたでも 制限なし  
※①②は同じ内容です。

### 《 事前申し込みの講座 》

講座の内容・対象・申し込み方法等は、博物館ウェブサイトまたは催物案内をご覧ください。

- 室内実習「貝殻のふしぎを調べよう」[博物館]  
①ホタテ ②キサゴ ③アワビ ④いろいろな巻貝  
①7月22日(土) ②7月23日(日) ③7月29日(土) ④7月30日(日)  
各10:00～15:30/申込締切:①②7月4日(火) ③④7月11日(火)
- 室内実習「先生のための岩石プレパラートの作製と観察講座」[博物館]  
7月26日(水)～27日(木) 10:00～15:00  
申込締切:7月4日(火)
- 室内実習「展示見学ポートフォリオづくり～デジカメでこんなに変わる博物館見学～」[博物館]  
7月31日(月)～8月1日(火) 10:00～16:30  
申込締切:7月4日(火)
- 室内実習「あなたのパソコンで地形を見る(教員向け)」[博物館]  
8月8日(火) 10:00～15:00/申込締切:7月4日(火)
- 室内実習「しましま地層のナゾをとく」[博物館]  
8月11日(金) 10:00～12:00/申込締切:7月25日(火)
- 室内実習「先生のための地層学入門」[博物館]  
8月12日(土) 10:00～12:00/申込締切:7月4日(火)
- 室内実習「岩石プレパラート観察講座」[博物館]  
8月26日(土) 13:30～16:00/申込締切:8月8日(火)
- 野外講座「海辺の野鳥観察会」[照ヶ崎海岸(大磯町)]  
9月2日(土) 8:00～10:00/申込締切:8月15日(火)
- 野外観察「昆虫観察会③」  
[酒匂川河川敷(開成町・小田原市)]  
9月3日(日) 10:00～15:00/申込締切:8月15日(火)
- 室内実習「タデ科植物の分類」[博物館]  
9月10日(日) 13:30～16:00/申込締切:8月22日(火)
- 野外観察「秋の地形地質観察会」[山北町・南足柄市]  
9月18日(土) 10:00～15:00/申込締切:8月29日(火)
- 野外観察「川と水路の生き物を調べよう」[開成町]  
9月24日(日) 10:00～14:00/申込締切:9月5日(火)
- 野外観察「秋の里山の植物」[舞岡ふるさと村(横浜市)]  
9月30日(土) 10:00～15:00/申込締切:9月12日(火)  
※IGES国際生態学センターとの共催
- 室内実習・講義  
「比べてみよう哺乳類の骨～頭骨編～」[博物館]  
9月30日(土) 10:00～15:00/申込締切:9月12日(火)
- 講義・野外観察「本当は怖いアメリカザリガニ②～最悪の水辺外来種について勉強しよう～」[麻生区はるひ野(川崎市)]  
9月30日(土) 9:30～15:30/申込締切:9月12日(火)
- 講義・野外実習  
「きのこの観察と同定」[博物館及びその周辺]  
10月1日(日) 10:00～15:30/申込締切:9月12日(火)
- 野外観察・室内実習  
「植物図鑑の使い方 樹木編～この木なんの樹?～」[博物館]  
10月7日(土) 10:00～15:00/申込締切:9月19日(火)

催し物の詳細についてはウェブサイトをご覧ください。  
問合せ先：企画情報部 企画普及課

## 生命の星



ライブラリー通信

文人たちの博物誌① 開高 健の巻

かいこう たけし

つちや さだお

土屋 定夫 (司書)

神奈川ゆかりの作家は枚挙に暇がありませんが、中には自然について、大いなる興味を持った人たちもいます。

今回は茅ヶ崎に居を構え、国内外で活動した開高 健に注目してみましょう。

開高といえば、ベトナム戦争の従軍記や『オーパ!』、『フィッシュ・オン』などの釣魚記などで知られていますが、自然に関する描写でも一流の作家であったことをご存知でしたか? 『開高健の博物誌』(集英社新書)には、この文学者の眼を通すと自然はこんなにも違って見えるのかと驚かされる文章が満載です。

実は開高にはこのタイトルの作品はありません。

この本は『昆虫記』の全訳で知られる仏文学者の奥本大三郎氏が、膨大な開高の作品の中から自然に関する文章を厳選したものです。釣り好きを証明するかのように魚はもちろん、哺乳類、昆虫、鳥、植物、石に至るまで、そのままざしはあらゆるものに向けられています。もちろんこれらは文学作品の一部分ですが、ショート・ショートを読んでいると思ってしまうほどの簡潔さも兼ね備えています。ぜひ一度、開高 健の博物ワールドに迷い込んでみてはいかがでしょうか。



集英社 2001年

自然科学のとびら  
第23巻2号 (通巻 87号)  
2017年6月20日発行  
発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館  
館長 平田大二  
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499  
Tel: 0465-21-1515 Fax: 0465-23-8846  
<http://nh.kanagawa-museum.jp/>  
編集 本杉 弥生  
印刷 株式会社あしがら印刷

© 2017 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.

\* 冊子体には再生紙を使用しています。